

40201ハイヤー・タクシー業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	19~20	駅近くにある車庫前の民家付近で、子供がいたので注意をし、車庫へ戻ろうとしたところ道路で転倒し、骨折した。	65	2	417	100 ~ 299
2	2017	12	8~9	交差点を通過するとき、対向車線よりトラックが右折しようとしてきたので、それを避けるためハンドルを左に切ってかわしたところ、止まりきれずにそのまま信号機に激突した。救急車で病院に運ばれ、肋骨が1本折れていると診断された。なお、乗客および他の負傷者はおらず、右折しようとしていたトラックとの接触も無かった（ナンバー不明）。	64	17	231	10 ~ 29
3	2017	12	2~3	勤務終了後、更衣室内で転倒し、負傷した。	49	2	416	500 ~ 999
4	2017	12	21~22	交差点にて信号待ちで停車中、加害車両にノーブレーキで追突された。	68	17	231	100 ~ 299
5	2017	12	9~10	クリニックへお客様をお送りする際、駐車場へ入るため減速したところ、後方車両に追突された。	46	17	231	100 ~ 299
6	2017	12	6~7	乗務するタクシーを洗車する際、地面が凍結していて足を滑らせ転倒した。	71	2	417	100 ~

									299
7	2017	12	16~17	空港の施設内にて、駐車カードに印をもらいに行く際、急いでいたため、足がねじれた状態で強く踏み込んでしまい、左足の踵を骨折した。	45	19	417	~	499
8	2017	12	7~8	営業所内にて、日報記入後、立ち上がろうとした際、後ろのいすに足をとられ転倒し、更に後ろにあった机に後頭部をぶつけ負傷した。	59	2	391	~	299
9	2017	12	14~15	お客様実車中、目的地に到着し、停車をして支払い中、当方車両右後バンパーに、トラックが接触してきたもの。	23	17	221	~	999
10	2017	12	19~20	タクシーでお客様を迎えに行った際、スーツケースを車のトランクに積み込もうとした所、風が吹いてトランクが閉まりそうになったので、とっさに押さえようとした際、右足にしびれと痛みが走った。	46	19	231	~	299
11	2017	12	23~24	交差点にて北向きで信号待ちをしている時に後方から飲酒運転の盗難車に当て逃げをされた。すぐに追いかけて、住宅地内で見かまえた。その際もバックで衝突された。	44	19	231	~	499
12	2017	12	9~10	燃料のガス充填終了後、車両に乗車時、自ら開けたドアの角に頭部をぶつけ、打撲・裂傷を負った。	59	6	231	~	299
13	2017	12	2~3	当車が、空車にて交差点を青信号で通過する際、右方向より走行して来た相手車両が、赤信号にて交差点内に進入してきた為、出会い頭に衝突した事故である。	65	17	231	~	299
14	2017	11	0~1	交差点路上にて、赤信号で南向きに停車中、後方より走行して来た車両に追突され負傷した。実車中の事故である。	54	17	231	~	299
			10~	冬用のタイヤに交換する為、タイヤを整備場へ持って行こうと					100

15	2017	11	11	車両のトランクへ積み込んだところ、腰部に激痛があり負傷したものである。	37	19	391	～ 299
16	2017	11	8～9	就労時間中に負傷した。赤信号のため停止中、後続の相手方車両に追突され負傷したものである。	70	17	231	300 ～ 499
17	2017	11	14～ 15	1日平均2～3人（体重30kg～80kg）のお客様の介助及び長時間の運転による腰の疲労・負担が蓄積した状況の中、タクシー利用のお客様のご自宅において、お客様を車椅子に移乗する際、体重80kg以上ある男性のお客様が後ろにふらつきバランスを崩された。咄嗟にお客様の身体を後ろから持ち上げるように支えたところ、腰に負担がかかり、突然、強い痛みを感じた。その後、病院で腰椎椎間板症と診断された。（介護職歴通算10年以上）	36	19	921	1～ 9
18	2017	11	9～ 10	当日、営業所内の洗車場でタクシー車両のタイヤ交換作業中、3本目のタイヤを交換時に、腰を圧迫して骨折した。	69	19	921	50 ～ 99
19	2017	11	23～ 24	当該者が信号待ちしていたところ、後続車の相手方運転士がペットボトルを車内に落としたことに気を取られ、フットブレーキが緩み、当該車両に追突された。	64	17	231	50 ～ 99
20	2017	11	15～ 16	タクシー車両で走行中、路地から出て来た自家用車に接触された交通事故である。	57	17	231	100 ～ 299
21	2017	11	16～ 17	被災労働者は、被災場所において、渋滞の為、停止しようとした際、後方から進行してきた相手方車両に追突され、負傷したものである。	60	17	231	100 ～ 299
22	2017	11	8～9	営業所構内にて出庫の準備の為、停車していた車両後部トランクが開き、その際トランク角部分に右肘を強打し負傷したものである。	32	6	231	10 ～ 29

23	2017	11	5~6	出社し、日常点検を済ませ運転日報の指数を確認中（ドライブレンジに入ったまま）車両が前進し、側溝に落ちてしまい、車外に出る際膝の靭帯を痛めた。	69	19	231	30 ~ 49
24	2017	10	15~ 16	車庫にて、歩いて移動中シャッターに異物がぶらさがっていたので、それをとろうとしてジャンプしたところ着地時に左足を捻り、負傷した。	64	3	417	100 ~ 299
25	2017	10	14~ 15	お客様お迎え時、ドアサービスを終え運転席へ向かう際、雨で濡れた路面で滑って転倒し、負傷した。	45	2	417	100 ~ 299
26	2017	10	0~1	配車を受け、現場駐車場に到着後、お店に声をかける前にトイレに行こうとした際に、溝近くの鉄板で足を滑らせ転倒した。後頭部を打ち出血した。	69	2	419	50 ~ 99
27	2017	10	14~ 15	病院車庫において救急車の洗車中、脚立から足を滑らせ転倒。脚立の角で鼻を強打。	63	1	371	10 ~ 29
28	2017	10	22~ 23	交差点にて、信号待ちの為停車している際、後続の相手車両に接触されたものである。	63	17	231	50 ~ 99
29	2017	10	13~ 14	左車線を走行中、中央車線より車線変更してきた車が接触し負傷した。	29	17	231	100 ~ 299
30	2017	10	23~ 24	タクシーに乗務中、交差点にて赤信号停車中、脇見運転の車両が輛に追突。車輛が勢いにて当車に追突。当車はその勢いにて車輛に追突した際その衝撃にて運転手が負傷したもの。	57	17	231	100 ~ 299
31	2017	10	8~9	タクシー営業中、赤信号の為停車したところ、後方から来た相手車両に追突され負傷したもの。	58	17	231	500 ~ 999

40	2017	8	14～ 15	当該車両が整形外科前の道路を西進していたとき、相手車両が薬局駐車場よりバックにて急発進し、接触した。	47	17	231	30 ～ 49
41	2017	8	8～9	タクシー乗務中、自転車と接触事故を起こし、相手の自転車を会社の自家用車に積み込もうとしたときに、自転車のペダルが右足に当たり負傷した。	65	3	362	100 ～ 299
42	2017	8	17～ 18	交差点において、右折レーンで停車中、後方からきた相手車両に追突され負傷した。	64	17	231	300 ～ 499
43	2017	8	7～8	社屋1階階段にて転倒し、右肩を負傷したものである。	54	2	413	50 ～ 99
44	2017	8	23～ 24	信号待ちで停車中、後方より追突された。	53	17	231	100 ～ 299
45	2017	8	23～ 24	交差点において、一方通行から出た被災者が運転するタクシーの左前部に、左から進行してきた小型乗用車が接触し、前部バンパーと左側フェンダーが大破した。その衝撃により、首のつけ根及び腰に違和感を覚えた。その後、事故処理のため頑張っていたが、翌日に首の左側に痛みが出るようになった。また、左側の付け根に張りが感じられ、腰の左側に違和感があったため受診し、頸椎捻挫、腰椎捻挫と診断された。	75	17	231	300 ～ 499
46	2017	8	19～ 20	タクシー車両を出庫の際、止めてあった場所の段差に気が付かず、左足首を強く捻じった。	66	19	418	30 ～ 49
47	2017	8	15～ 16	当方が走行中に、右方より走行してきた相手方車両と接触したものである。	60	17	231	300 ～ 499

48	2017	8	15~ 16	整備工場、点検作業場内で、エアーもれを点検する為車両後部をジャッキ中アップし車両下に入り点検していた。フレームが頭部顔面に接触し後ろへ転倒し腰部を打ち負傷したものである。	64	4	231	30 ~ 49
49	2017	7	6~7	専用乗り場にて、同僚が車両を停車し、車両から離れトイレに行った際、道路の形状が下り坂になっていたため自然に動き出し、下った先で停車中の運転士が制止しようとしたが間に合わないと判断。危険も感じたため、自車に戻ったがその際に左足を強く踏ん張ったことと、衝突した衝撃で左足を負傷したものの。	64	17	231	50 ~ 99
50	2017	7	15~16	階段を下りた際に転倒し、負傷した。トイレに行く時に負傷した。	66	1	413	50 ~ 99
51	2017	7	1~2	当該者は信号機のある交差点を赤信号で通過しようとした処右方より走行してきた相手方車両と衝突し負傷した。	62	17	231	100 ~ 299
52	2017	7	21~22	朝出勤して、点検点呼を受け出庫した。25回目の仕事で駅南口からお客様を乗せモノレール沿いに走行して赤信号にて停車。後ろから来た相手車両に追突され記載のとおり負傷したものである。	51	17	231	100 ~ 299
53	2017	7	23~24	厨房で配送を行っていた際、配送番重に右手薬指をぶつけた。	51	17	231	100 ~ 299
54	2017	7	20~21	鮮魚作業場にて、マグロを包丁で加工中、左手で包丁の先端を押さえていたが、包丁を握っていた右手を動かした際に包丁が滑り、左手の平の中央部分を刺してしまった。	49	90	911	100 ~ 299
				お客様（女1人）を乗せて進行中、交差点で、信号待ちで停止し				100

63	2017	5	18～ 19	待機場にて車内で片付けをしていたところ、タオルを落とし拾おうとして左肩を捻る。大雨が降っていたので車内で左手を突っ張った状態で右手で取ろうとして左肩を捻った。タオルを取った瞬間に左肩付近でバキッと音がし、痛みでしばらく動けなくなった。	58	19	231	10 ～ 29
64	2017	5	10～ 11	交差点にて、徐行しながら直進していたところ、右側からの車が一旦停止をせずに直進してきたため衝突した。	29	17	231	10 ～ 29
65	2017	5	7～8	トランクサービス中にスーツケースが収まりきれずゴムロープを引っ張り、トランクを固定しようとしたところ、眉と髪の毛の生え際の間額の間にフックが当たり負傷する。	68	6	379	300 ～ 499
66	2017	5	21～ 22	お客様を乗せ走行中、交差点に差し掛かり、相手の、止まれ標識を無視してきた車両と接触した事故である。	28	17	231	100 ～ 299
67	2017	5	12～ 13	前がつまり停止していたところ後方車両に追突され、頸椎捻挫の負傷をした。	58	17	231	100 ～ 299
68	2017	5	7～8	実車中に信号待ちをしていたところ、後方より来た乗用車が雨のためスリップし、当方車両の後部に追突した。お客様は特に無事であったが、乗務員は衝撃で頭部、頸椎を負傷した。	58	6	231	50 ～ 99
69	2017	5	15～ 16	タクシー営業中、直進方向に進行していたところ、右後方から進路変更してきた相手車両に追突され負傷した。	45	17	231	500 ～ 999
70	2017	5	8～9	駅にて待機中、車両から離れていたところ、客が乗り込みに来たので慌てて戻ろうと急に走ったところ、左足ふくらはぎに激痛を感じ、左腓腹筋損傷となった。	50	19	921	100 ～ 299
				仕事終了時、車庫前で車の洗車中、道路の凹凸に足を取られ右				10

71	2017	5	1~2	足首をひねり、甲を骨折した。	64	19	418	~ 29
72	2017	4	7~8	本社営業所において、出社時に自分のタクシーを洗車しよう と、洗車場から降りる際に足を滑らせひねり、左足甲を骨折し た。（傾斜を油断してひねった。）	61	19	417	10 ~ 29
73	2017	4	19~ 20	駅付近路上でお客様待ちで停車していたところ、前方から歩いて 来た相手が訳のわからないことを言いながら被災者のタク シーに向かって何か物を投げつけ、運転席にいた被災者に近寄 り、いきなり胸ぐらを掴み顔面を殴った。	66	4	719	100 ~ 299
74	2017	4	8~9	整形外科にお客様を送り降車させる際右側に停車していた車が バック（後退）してきたため当方の右後方ドア付近に後突した 事故である。	66	6	231	100 ~ 299
75	2017	4	8~9	信号待ちをしていた時、後続車に追突され負傷した。	54	17	231	50 ~ 99
76	2017	4	12~ 13	運行管理者に出庫点呼を受け、乗務日報等が入った袋を両手に 持ち、車庫に出る時に車務所入口のアプローチを踏み外し、右 肩より前方の車庫に倒れ負傷した。	47	2	418	100 ~ 299
77	2017	4	4~5	南口のタクシー待機場所内で車両を停車させ待機する。その 後、軽い運動をしようと車両から降り、車道との境目に設置さ れている、等間隔高さ50cmで間にチェーン・ロープ（金属製） が張られている物を跨ごうとした際、左足付け根がチェーン・ ロープに引っ掛かり、左肘から地面に倒れた。	63	2	391	300 ~ 499
78	2017	4	2~3	交差点にて赤信号停車中、後方より進行してきた相車に追突さ れた。	41	17	231	50 ~ 99
				酔客2名を乗せ走行中、酔客一人が、嘔吐をはじめた。走行中				

87	2017	2	7~8	乗り場にて、待機中お客様の荷物を別のタクシーに乗せるのを手伝っている途中、自分の番になったので慌てて、戻る時に躓いて顔面を強打した。	71	2	417	50 ~ 99
88	2017	2	3~4	交差点にて南向きで信号待ちで停車中に追突される。	55	17	231	—
89	2017	2	1~2	被災者は、実車走行中、前方が工事中の為、停車していたところ後方から走行してきた相手車両に追突され負傷したものである。	44	17	231	100 ~ 299
90	2017	2	18~19	出社し点呼を受け数回仕事をした。出庫してから徐々に体調が悪くなってきたので、ガスを充填してから帰庫しようとスタンドに向かう途中、片側2車線の左側に停車していた大型ダンパーカーに気が付くのが遅れ、当方の左前方が相手方右後方に追突し、その時負傷したものである。	58	17	231	100 ~ 299
91	2017	2	22~23	道路を進行中の信号待ちで後続車に追突されたものである。	51	17	231	100 ~ 299
92	2017	2	16~17	トイレを借りようとした際、階段で踏み外し足首を負傷したものである。	68	1	413	100 ~ 299
93	2017	2	19~20	入口前で、ジャンボハイヤーの乗客乗降口付近で待機していたところ、お客様が乗車しようと車両前に来た所で、足を滑らせ転倒しそうになったので助けようと腕を伸ばし身体を抱える状態で無理な姿勢となり背中や腕をひねり負傷した。肩や腰に痛みを感じながらも勤務していたが痛みが治まらず、後日病院へ行った。	50	19	921	1~ 9
94	2017	1	17~ 18	体育館前交差点内において、タクシー業務終了後にタクシー駐車場に戻り自家用車に乗り換えて、売り上げを納金する為に本社に移動していた時に、コンビニに立ち寄って日報のコピーを取り、交差点内でUターンしようとした時に直進の車と接触	68	17	231	30 ~ 49

				し、頸椎等を負傷した。				
95	2017	1	17～ 18	病院北側を走行中、前車が停止したので、続いて停止したところ、後方より追突された。	60	17	231	100 ～ 299
96	2017	1	0～1	訪待停車中、後方よりノーブレーキで追突されたもの（旅客運送後の途中）。	55	17	231	100 ～ 299
97	2017	1	9～ 10	タクシーを洗車中、ホースからの水が少しコンクリートの上に飛散したのか、足元が滑って転倒し怪我をした。	44	2	417	50 ～ 99
98	2017	1	4～5	駐車場内の洗車場にて出庫準備中に点検のために車外に出て客席側に行こうとしたところ、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右肘をついたため骨折した。	67	2	417	100 ～ 299
99	2017	1	11～ 12	車イスのお客様を自宅までお送りし、車から車イスを降ろし玄関の中に入り、部屋までお連れするために上がりかまちの所で車イスを両手で持ち上げた際に左膝をひねり負傷した。	66	19	362	50 ～ 99
100	2017	1	2～3	空車にて進行中、脇道より相手の車が一時停止もせずに飛び出して来て、当方の車両に衝突し、逃走した。当初は体にあまり痛みを感じなかったのだが、その後、痛みで眠ることができなくなった。	69	17	231	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。